



池田町長

この度の熊本地震によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます、一日も早い復旧を願います。

災害協定の締結

5月18日に津野町と須崎地区森林組合・津野町森林組合との間で「災害時の応急対策活動等への協力に関する協定」を締結した。津野町からの要請に基づき、道路施設災害及び崖崩れ等の応急復旧並びに災害廃棄物の除去及び搬送に協力が得られる。平常時から関係機関との連携を確認、強化するとともに災害時における迅速かつ円滑な応急対策活動の実施に努める。

町長 行政報告

自主防災組織

南海トラフ巨大地震における被害想定は甚大で、自主防災組織の充実は重要な課題である。一昨年・昨年に引き続き、町と社会福祉協議会が連携し町内を20ブロックに分けて出向き、自主防災活動や避難所運営・防災関連事業等について意見交換をした。5月末時点で49地区で37の自主防災組織が規約を策定し活動を開始している。今年度から自主防災組織の防災力向上を目的に防災資機材の整備に對して補助金制度を設け、各地区に資機材が整備されれば防災力の底上げができる。大規模災害が発生すると消防や役場の対応にも限界が

あり、自助・共助の大切さを念頭に「自分の命は自分で守る」という意識と自主防災組織の必要性を理解いただき、全地区に自主防災組織規約を作成していただきたい。

東京農業大学と連携協定

平成24年度に津野町で開催した全国源流サミットを契機に、津野町まち・ひと・しごと創生総合戦略アドバインザーに就任いただき、その後も関係構築に取り組んできた。この度、教育・研究成果や知的財産を生かし、国内外に発信できる地域活性化を目指した取り組みに寄与することを目的とした連携協定を締結する。大学の持つ農林業の生産技術と食品加工や醸造等の加工技術を地域活性化に活かせる環境が整った。地域団体等とのマッチングを図り、外貨を稼ぐ小さなビジネスの創出に取り組んでいく。

年金生活者等支援

臨時福祉給付金・高齢者向け臨時福祉給付金「一億総活躍社会」の実現に向け、賃金引き上げの恩恵が及びにくく、低年金受給者への支援や高齢者世帯の年金を含めた所得全体の底上げを図るため実施するもの。対象者は平成27年度臨時福祉給付金の支給者のうち、平成28年度中に65歳以上となる方で一人につき3万円を支給する。町内では1千405人で、5月9日から8月10日までを申請期間として受付を開始している。平成28年前半の個人消費の下支えの観点から早期支給に努めている。

奥四万十博

4月10日には5市町連携で盛大なオープニングイベントと共に開幕した。ステージショーでは津野山古式神楽を上演し、大変好評であった。飲食コーナーでは特産品を使った食材に長蛇

の列ができるほど大盛況であった。神楽の体験コーナーでは太鼓のばち捌きや、えびす舞用の竿細工などを行った。集客用に購入したトウクトウクを展示し誘客宣伝を図った。当日の来場者は2万5千人で、町が参加するイベントでは最大規模となり貴重な経験となった。引き続き誘客に向けホームページやラジオ・広報等で情報発信を行うとともに、秋冬に向けてのメニューの磨き上げを行っていく。



奥四万十博オープニング